

悩む人々に寄り添いおつとめで治まりを願い
病む人にはおさづけを取り次ぎ
たすけ一条の歩みを力強く邁進しよう



第5回ようぼく一斉活動日 論達拝読 (札幌中南)

第616号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>



すべて喜び

すべておたすけ

北海道教区

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン



ビデオメッセージ視聴 (千恵広)

ようぼく一斉活動日
第5回目の「ようぼく一斉活動日」が11月1日、2日の両日、道内29会場を含む国内外の計702会場で実施された。
教祖140年祭へ向かう三年千日において、同じ地域に住むようぼくが互いに励まし合い、勇ませ合って、それぞれの教会や個人の年祭活動に弾みをつけることを目的とし、おつとめ、「論達第四号」拝読、教会本部からのビデオメッセージのほか、会場ごとに独自のプログラムが設けられた。



ねりあい (富良野)

参加者は、講話やねりあい、感話、おさづけの取次ぎ、てをどり練習やにいがけ実動などを通じて、自らの信仰を見つめ直すとともに、年祭まで残りの期間、心を仕切り直して、たすけ一条のひながたの道を辿らせていただき、おたすけの心を持つことの大切さをあらためて誓い合った。
立教186年10月から全5回、教区・支部の運営により実施された「ようぼく一斉活動日」の全日程が終了した。



おさづけ取次ぎ (札幌東)



おつとめまなび (渡島)



講話 (空知)

(ようぼく一斉活動日写真2Pへ続く)

北海道教区のホームページ〈<https://tenrikyohk.com>〉で教区報がご覧頂けます

ままつぶの集い

婦人会

婦人会（奥村とう子主任）は、11月23日、子育て中のお母さんやこれから子育てを経験する方のふれあい・学びの場として『立教188年 ままつぶの集い』を教務支庁にて開催した。

（参加者10名、子供26名、託児・スタッフ24名、総計60名）



ウォーミングアップ



グループトーク

開始に先立ち一同により座りづとめをつとめた後、婦人会主任の挨拶で「ままつぶの集い」発足の経緯が伝えられた。

緊張した様子の参加者もウォーミングアップのゲームでお互いに和んだ雰囲気となり、グループトークでは、トークシートを基に子育てや信仰について思うこと、感じる事をお互いに語り合った。

その後、親子でおいしい昼食、スイーツをいただき、午後は、子どもと一緒にリース作りやスライム作りを行った。

担当者は、「託児ひのきしんに、女子青年、学生会



親子で一緒に作業を

付き添いの皆さまが笑顔でつとめて下さったおかげで、お母さん方も安心してリフレッシュして頂けたと感謝しています。

ままつぶの集いにご尽力頂きました皆様、ありがとうございました。」とお礼を述べた。



ビデオ視聴 (倶知安)



おてふり練習 (天塩)



講話 (札幌北西)



おつとめ (南空知)



おつとめまなび (北見)



ビデオメッセージ視聴 (余市)

親の声を受けて歩む信仰の道

— 余市支部長 野村広司 —



余市支部は余市・仁木・古平・積丹・赤井川の 5 町村と小樽市蘭島地区で構成されていて、全教会が 30 分以内に中心となる余市町に集まれる小さな支部です。私は平成元年に、この地域に移り住んで、はや 36 年となりました。家族的な雰囲気のある支部のおかげで、楽しく支部活動ができています。

「あらかじとまりよう」のよう

私の実家は代々仏教で仏壇があり、母親の信仰から神棚も祀ってくれるようになっていました。

母のおかげでお道につながってはいましたが、何となく、の信仰でした。おちばの高校に行ったのは住んでいる地域から出たかったから、その後の大教会住み込みもお礼勤めが義務だったからでした。

そんな中、昭和 63 年の秋季大祭におちば帰りした際に、上級の会長様から「教会の後継者に」

ました。上級教会からかけて頂いた教会教職舎の普請は、ほぼ信者の皆さんのひのきしんででき、それを通して信者さん同士の一体感ができました。一期講師や教養掛のおちばの御用のおかげで、信者さんと教会とのつながりが強くなりました。



帰られる予定になっています。教祖伝逸話篇 82「ヨイシヨ」に、かんろだいの石出しで運んでいた石を載せた車のうちの一台がお屋敷の門前で動かなくなっただけに、お出ましになった教祖がかけて下さった「ヨイシヨ」とのお声で一気に門から入れることができた、というお話が載っています。

親の声は力を頂く元、ご守護を頂く源になります。おちばや大教会、上級教会からかかる声は神様からの声と思って、しっかりと受けて実行していきたいと思っています。

今年は「一人でも多くの方を、一回でも多くおちばへ」とのご本部からのお打ち出しに心をこめたおかげで、例年より多くの方におちばへ帰って頂けました。特に 10 月は半世紀ぶりに帰られた方を 2 名ご案内でき、教祖 140 年祭には初めての方 2 名が心掛けています。

●ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月 29 日

10 月 29 日は、神殿、ロビー、玄関、廊下、階段、大小会議室、風呂、トイレの各所掃除、窓拭きを行い、13 名が参加下さいました。

ありがとうございました。



神殿掃除



※次回は、日時変更

12 月 26 日教務支庁にて 10 時からの遥拝式終了後

※ 今後の予定や詳細はこちらの QR コードから



定例にをいかけ

やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、11月16日、南7条西18丁目のなかよし公園を起点として11名が戸別訪問にまわり、布教活動を行った。

初冬の寒い日が続く中、日差しが少しあたたかく感じられたこの日、2、3名のグループに分かれて戸別訪問を実施。しばし心が折れてしまいうるようになるにをいかけではあるが、仲間の存在によって心を立て直すことができ、その喜びを感じながら定められた時間を心明るくつとめることができた。

教務支庁に戻り、振り返りの時間には、この日のにをいかけで感じたこと、また、日頃通る中で起きた様々なできごとなど



戸別訪問

をそれぞれが発表。

教会長である一人の参加者は、最近初めてやまびこ会に参加した際に、大きな勇み心を感じたとき、地道ながらも日常的に布教を行うことができるようになった、と話して下さった。

さらには、信仰に對し決して前向きではなかった信者さんが、『そばにいてくれるだけで

◆やまびこ会のご案内◆

布教を志す者の会として、にをいかけ活動を中心に実施しています。どなたでもご参加いただけます。

今回は、
12月16日 13時30分
教務支庁集合

支部総会報告

(代表 藤野充普)

●空知支部(高橋洋治支部長)では、11月1日、新十津川分教会にて支部総会を開催した。

いいですから』とお誘いし始まったにをいかけを通じ、少しずつ成人の道を歩み始め、今ではともに戸別訪問に回って下さるようになったとのこと。その熱心な語り口に、参加者一同が大きな感動を頂戴し、改めて残りの年祭活動を精一杯つとめようとの思いを持って、それぞれの帰路についた。

新教会長さん紹介

(令和7年10月お運び)

函館支部 京館分教会(東)

奉告祭 11月16日



柴田 元恵 氏
57 歳

北海道教務支庁日誌抄

11月1日	第5回ようばく一斉活動日
2日	学生会例会
4日	第5回ようばく一斉活動日
8日	札幌中南支部例会
10日	学生会例会
13日	青年会 Meets!
15日	学生会例会
16日	しらくき会例会
21日	やまびこ会
23日	学生例会
25日	やまびこ会
26日	教区長婦人
27日	教区長婦人
29日	教区長婦人
30日	基礎講座教務支庁会場 たすけ推進会議

●毎月実施中

にをいかけ Walker 北海道

年祭活動の後押しをさせて頂きたいの思いからオンラインで、それぞれの場所での路傍講演、神名流し、戸別訪問、おつとめなどの実動をいたします。

詳細などは教区布教部まで。

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。所属教会を通して教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭選拜式を午前10時より行っています。

計報

立教一八八年・令和7年

諸橋 辰夫様	10月26日出直(85歳)
美知山分教会長	(空知支部)
岡田 紀子様	11月8日出直(91歳)
富良野分教会前会長夫人(富良野支部)	
野田 祐治様	11月10日出直(69歳)
浦河分教会長	(日高支部)